

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 5 日現在

機関番号：14401

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2015～2016

課題番号：15H06352

研究課題名(和文)近代日中伝統文化の再構築に関する比較文学的研究 トランスナショナルの視点から

研究課題名(英文) A Comparative Literature Study on cultural reconstruction movement in modern Japan and China

研究代表者

莊 千慧 (CHUANG, CHIENHUI)

大阪大学・文学研究科・招へい研究員

研究者番号：50711123

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は世紀転換期の日中両国の知識人における越境行為を、神智学を用いて、歴史・思想・文学などから多層的に分析を行い、人的交流の様相及び自他国文化の止揚・統合について実証的な研究を行った。その成果として、多様な研究分野でも幅広く汎用できる研究資源が網羅されるほか、第一に近代中国知識人の東西文明観の枠組みで捉えてきた伍廷芳の東西文明論の特徴が示されたことで、従来の研究の活性化・多層化を促す効果が見込まれる。第二に、日中知識人の神智学受容を考察することで、神智学の持つインターナショナル主義的性質が民族主義や汎アジア主義に転化されていったことの一隅を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This research used Theosophical movement in modern China and Japan to reexamine their intellectuals' trans-national experiences. The examination crossed from history, ideology to literature fields. Therefore, this research collected academic resources which may be utilized in other research areas. This research discovered that Dr. Wu Tingfang's idea of Eastern and Western ideology was based on the Theosophical aim, the "Universal Brotherhood". And Wu's theosophical propaganda fit the Zeitgeist in 1910s' China. Under his leadership, the Theosophical movement conducted research on spirituality, social reform, and anti-colonialist movements. Wu Ting-fang was one of the pioneers of spiritualism and vegetarianism in China and was admired for his efforts in gaining equal rights for Chinese immigrants. In conclusion, since these achievements were based on the aims of the Theosophical Society, the theosophical impact in modern China should also be reevaluated.

研究分野：比較文学

キーワード：比較文学 比較文化 神智学 ポストコロニアリズム

1. 研究開始当初の背景

近代日・中・印などのアジア諸国の知識人の東西文明観は、従来多分野において論究されてきた。ただし、伍廷芳などのような、中国本土以外の場所で育てられ、流暢な英語で欧米社会へ直接発信した知識人が、奉公のために中国に戻った後に考えた東西文明論と梁啓超らのとの差異は比較されていなかった。伍の東西文明論において彼がインターナショナリズムの性質を持った神智学に傾倒したことは重要である。また、伍が東アジアで最初に近代化に成功した日本を近代化の媒介とは見なさず、友邦として接したことを孔祥吉氏が解明したが、それには神智学思想が寄与しており、その実態についても再考する余地があるため、本研究では西洋からの衝撃を受けた後における近代日中の知識人の東西文明観を、神智学を用いて、トランスナショナルな視角から再考を試みる。

2. 研究の目的

本研究では神智学が日中知識人の東西文明観を変えた可能性について考究する。第一に中国本土外で育てられた伍廷芳における神智学受容から探り、第二に神智学に関心を抱いた日本人作家の中国観から、彼らが日中の共通性を見出す動きを検討する。神智学に触発され、西洋対自国（近代対前近代）というパラダイムのみではなかった例を究明することで、近代日中関係史、文学受容史研究に双方向的な新たな光を当てることも期待でき、思想・文学の面から東西の接触の様相及び近代日中交流の研究の発展を目的とする。

3. 研究の方法

(1) 訳作から見る東西思想の取捨選択

調査対象は伍廷芳の神智学翻訳であるが、伍には欧米の読者を対象にした英文の著書及び中国人を読み手とした中国語の著作がある。それらの作品に見られる表現の差違も検討する。

(2) 日中両国における神智学の人的ネットワークの解明

伍から連鎖し錯綜してゆく人脈とその影響について精査し、それらのネットワークの全貌を解明することで、神智学をめぐる東西の融合の全体像を探ることが可能となり、梁啓超や加藤見智などの日中知識人における東西文明観との相違を明らかにする。

(3) 神智学の受容による日中文学の連鎖

神智学の影響や流用がみられる日本近代文学の作家や作品の中国での受容と動向に関して調査する。

4. 研究成果

本研究は世紀転換期の日中両国の知識人における越境行為を、神智学を用いて、歴史・思想・文学などから多層的に分析を行い、人的交流の様相及び自他国文化の止揚・統合について実証的な研究を行った。その成果として、多様な研究分野でも幅広く汎用できる研究資源が網羅されたほか、第一に近代中国知識人の東西文明観の枠組みで捉えてきた伍廷芳の東西文明論の特徴が示されることで、従来の研究の活性化・多層化を促した。第二に、神智学を用いて、それに関わった人的ネットワークの形成とその連鎖・余波とも言える日中両国の文学面での受容を考察することにより、文学手法や概念の摂取というレベルに留まらず、近代日中文化・文学交流における双方向的な接触の様相が解明された。第三に、日中知識人の神智学受容を考察することで、神智学の持つインターナショナリズムの性質が民族主義や汎アジア主義に転化されていった過程の一部も明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

莊千慧、「夏目漱石『門』・『行人』における宗教概念とその時代」、『語文』、査読有、106・107 輯合併号、2017 年、pp.29-43

莊千慧、「A Study of Shanghai Magazine, and its Proponents, Focusing on its Literary Column」, *Annals of "DIMITRIE CANTEMIR" Christian University Linguistics, Literature and Methodology of Teaching*, Refereed Paper, vol.16, 2016, pp.42-53

莊千慧、「一九四〇年代の在台日本人の郷土意識—池田敏雄の台湾民話を例として—」、『日本文学』、査読有、9月号、2015年、pp.50-60

〔学会発表〕(計7件)

莊千慧、*The Theosophical Educational Movement in Modern China: Conflicting Interactions Between Eastern and Western Ideologies*, (Osaka :National Museum of Ethnology), March 2017.

莊千慧、「朝日新聞文芸欄に見る明治知識人の宗教概念—漱石・古峽・楚人冠」共同研究会「新聞のなかの文学」(大阪：大阪大学・豊中キャンパスにて)、2016年8月。

莊千慧、*Propagation and Acceptance of Theosophy in Modern China*, 21st World Congress of the International Comparative Literature Association(Vienna : University of Vienna), July 2017.

莊千慧、「夏目漱石『門』再考—漱石の東西文明観との類似性を視座として—」日本近代文学会2015年度秋季大会(石川：金沢大学・角間キャンパスにて)、2015年10月。

莊千慧、*Reception and Propagation of*

Theosophy in China: With Special Focus on the Introduction of Theosophy by Wong Chin-Foo (1847-1898) and Wu Ting-fang (1842-1922), Conference of the Enchanted Modernities: Theosophy, Modernism and the Arts Project (New York : Columbia University), October 2015.

莊千慧、*Education Carried out by Theosophists at the Shanghai International Settlement: Besant School for Girls without Annie Besant*, Conference of the Cluster of Excellence "Asia and Europe": Theosophy Across Boundaries (Heidelberg : Heidelberg University), September 2015.

莊千慧、「神智学徒が上海共同租界で行った教育事業」日本宗教史像の再構築・神智学研究会共同企画ワークショップ「アジアの神智学」(京都：京都大学・吉田キャンパスにて)、2015年8月。

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕0

○出願状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

莊 千慧 (CHUANG, Chienhui)

大阪大学文学研究科 特任助教

研究者番号：50711123

(2)研究分担者 なし

()

研究者番号：

(3)連携研究者 なし

()

研究者番号：

(4)研究協力者 なし

()